

編集後記

早いもので本研究所が発足してから3年余を経過しました。石の上にも3年といいますが、省りみまずと光陰矢の如く、むしろ研究の歩みの遅々たるを嘆いています。

それにもかかわらず、創立3周年を期に、『戦後の社会保障』本論・資料篇を刊行し、今までの研究成果の一部を世に問うことができました。またこれとは別に、創立3周年シンポジウムを、この2月に東京・弘済会館において開催し、社会保障研究の課題と視点について、先達の先生方のご意見を学ぶことができました。

いうまでもなく、社会保障の研究は広範多岐にわたり、しかも対象とする課題は日々変化しているだけに、1回や2回のシンポジウムで到底問題を網羅するわけにはまいりません。その意味でも、このような試みを今後とも継続して積み重ねていくことが必要かと思ひます。そして今後とも、この研究・討議の内容について、本機関誌で発表していきたいと思っています。

この特集号は3周年記念ということでもあり、巻末に「社会保障研究所3年の歩み」を年表風に取りまとめておきました。光陰矢の如き3年と書きましたが、この歩みを読み返してみると、この間に随分いろいろなことがあったのだと、今更ながら新たな感慨にふけりました。

考えてみますと、私ども所員も年々忙しくなり、ややもすると仕事と研究に追われ、ゆっくり花見もできないようになっています。3年の歩みのなかで、多忙さが増すのは、それなりに本研究所が発展してきているのだと思われまふ。

3周年を期して、所員一同、心気一転、一層頑張るつもりでいます。読者の皆様のご鞭撻を今まで以上にお願ひします。
(F. M.)

季刊 社会保障研究 3周年記念シンポジウム特集

昭和43年5月25日発行

非売品

編集兼発行所

社 会 保 障 研 究 所

東京都千代田区霞が関3丁目3番4号

社会事業会館内 電話 (580) 2511~2513

製 作 所

財団法人 東 京 大 学 出 版 会

東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内

電話 (811) 8814 振替東京 59964